



浜小だより

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

2023年10月31日

11月号

学校教育目標 「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

校長 青柳 和富

「みんなの笑顔が咲き誇る運動会」

秋晴れの下、無事開催できた運動会には、多くの皆様に応援にお集まりいただき、誠にありがとうございました。本年度の開催に際しましては、コロナ禍の知見を生かし、子どもたちに大きな負荷を掛けずに全校で実施できるかつそれぞれの学年のポテンシャルを十分に発揮できる午前開催といたしました。併せて、運動会等で恒例となってきたいわゆる場所取り（私も父として早朝からよく並んだものです…）の概念を無くす形態に変更いたしました。いかがだったでしょうか。

さて、学校の3大行事といえば入学式、運動会、卒業式ですが、中でも一番のビッグイベントは運動会です。全校がここに向けて一斉に動く際のエネルギーは計り知れません。特に演技（ダンス・踊り）にける熱量は高く、学年練習の9割を占めるといっても過言ではありません。これまでの運動会の演目やトレンド等を勘案しながら学年で構成を練り、まずは子どもたちに基本的な型を伝授（発達段階に応じてダンスリーダー等もあり）します。暑さが落ち着き始める後期に入るところからは、練習場所を校庭に移し、隊形や動きの調整に入っていきます。概ね1か月の練習期間を経て、いざ本番となるわけですが、その間、様々なドラマが展開されます。保護者や地域の皆様に披露するのは本番のみとなりますが、子どもたちと創り上げる過程に立ち会える教職員は役得（これは、全ての教育活動について言えること）だなといつも思います。校内巡回や校長室の窓などから垣間見えた取組の裏舞台を少しご紹介します。

- ①学年の子どもたちに対するダンス担当の先生のモデリングが分かりやすいことに加え、ダンスに向かう姿勢を教員自らが子どもたちに示すことができているため、子どもたちがダンスの世界に入りやすい。
- ②マイクを握って指示する先生の声のトーンが穏やかで（ときに叱咤激励もありますが…）、指示の変更等の際に、**先**「ごめん、変更」、**子**「えー、もう覚えたのに」、**先**「大丈夫、君たちならできる」というような、子どもたちが前向きに取り組める言葉掛けに努めることで、子どもたちが安心してダンスに取り組んでいる。
- ③どこにいてもダンス曲が流れると自然と皆で踊り出すなど、ダンスが子どもたちのものになっている様子が窺えることに加え、隙間時間や休み時間に子どもたちが主体的に練習しようとしている。その際に、タブレットや大型モニターにレッスン用や自分たちの学年練習の様子を映した動画を再生できるようにするなど、子どもたちが主体的に取り組める手段を提供できている。

「わずか数分されど数分」、本番はあっという間でしたが、ここまで創り上げてきた過程が子どもたちの大切な学びであり、これからの学校生活をさらに充実させる糧となります。その中で保護者や地域の皆様の運営に係るお手伝いや温かな眼差し、大きな拍手は、開会式でお話しさせていただいた、今の学校体育で大切にしている「する、みる、支える、知る」の内の「支え」として、子どもたちの成長をしっかりとアシストしていただくものとなりました。みんなの笑顔が咲き誇る運動会を共に創っていただきありがとうございました。

